振り返りレポート

　システム開発演習にてチームリーダを務めました。リーダとしての責任を感じながら全体を通してマネジメントをしていましたが、なかなか上手くは行かず、失敗の連続でした。

　SM2のシステム開発8月中旬頃からスタートしました。自前のノートパソコンを持ち寄り、集まれる場所を作ってメンバーで集まり機能の洗出しからはじめました。

　書類の作成が第一でしたが、そもそもどのようなサイトが作れるかの予想も出来ないので、メンバーの田中にプロトタイプを作るように指示を出しました。その他のメンバーは、システムに必要な機能の洗出しをお願いしました。

　この時の良かった点は、機能の洗出しとスパイクソリューションを並行して作業に取りかかれたことです。機能の洗出しを行う上で、自分たちに出来るものなのかの判断があまりにも曖昧過ぎるので、欲しい機能として洗い出せからです。

　ここでの反省点は、機能要件と非機能要件に分けて考えればよかったと思いました。まず納品する最低ラインを決めるのと、あらゆる機能の洗出しをし、確定すればよかったと思いました。

　機能の確定が曖昧なまま9月を迎え、そこでメンバー全員の焦りもなくスローペースで機能の決定をしました。この時に書類をほぼ書いていなかったので、今になって書類が終わらないという事になってしまったことを反省しています。

　メンバーをまとめる時は、資料をきちんと書いて、きちんとまとめることを怠らないようにすべきだと実感しました。また、システム開発の全体の流れを知る事が必要だとわかりました。

　システム開発演習をするにあたって、どのようにシステムを作っていけばいいのかをあまり理解していなかったのが、作業が進まなかった大きな原因だと考えています。また、チームメンバーのモチベーションの向上や、やることをはっきりさせて作業に取り掛かりやすい環境を作ることも凄く重要だと思いました。

　次回のシステム開発演習では、マネジメントを重要視し、書類や資料をもっと多く作成し、スケジュール管理をしていこうと思いました。

　システム自体は良くも悪くもなく、要件を満たして居るので今回のシステム開発演習は失敗というわけではありませんでした。

　ただ、システムを作っていくうちに機能が増え、画面数が大幅に変わったことで書類の訂正が間に合わない事が非常に多かったです。

　今回はウォーターフォールでの開発でしたが、アジャイルでの開発も興味があり、実際にやってみたいと思っています。

　今回も使用しましたが、次回以降もGithubや、Slackなどのツールを是非使っていきたいと考えています。GithubのissueやMilestoneなどの機能は今回のシステム開発の後半に使いだしたので、前半に知っておけばもっと上手く進められたのだろうと感じました。

　また、MicrosoftAzureや、Heroku　さくらのクラウド　などの最近流行りのクラウドソリューションも時代の流れに合わせて使っていきたいと思っています。

以上